

平成 19 年 6 月 5 日

各 位

西日本シティ銀行

消費者動向調査 No.100 「夏のボーナス使いみち調査」

西日本シティ銀行（頭取 久保田勇夫）は、消費者動向調査を定期的を実施しております。今般、「夏のボーナス使いみち調査」の結果がまとまりましたので、その概要をお知らせいたします。

記

調査時期：平成 19 年 5 月
調査対象：福岡県内のボーナスがある家庭の主婦 500 人
（うち回答者 470 人、回答率 94.0%）

調査結果要約

- ◆ **今年の夏のボーナス支給予想、昨年夏と比較して“多くなる”が 4.0 ポイント増加。“少なくなる”が 10.2 ポイント減少。景気回復はボーナスへ波及。**

今回の調査で、夏のボーナスが“昨年より多くなる”と予想する割合が 4.0 ポイント増加、平成 18 年夏よりボーナスが多くなるとの予想が増えている。（調査結果本文 2P）

- ◆ **夏のボーナス、自由に使える金額は、主婦 4.7 万円、夫 5.7 万円とほぼ横ばい。**

夏のボーナスで自由に使える金額は、主婦の平均 4.7 万円（昨年夏比 +0.4 万円）、夫の平均 5.7 万円（昨年夏比 0.1 万円）とほぼ横ばい基調。まだまだ慎重な姿勢がうかがえる。（調査結果本文 3P）

- ◆ **夏のボーナスの使いみち予定は今回も「預・貯金」がトップ！「旅行・レジャー」が平成 16 年夏以来の 2 位。**

夏のボーナスの支出予定トップは今回も「預・貯金」で、昨年夏と比較すると 11.7 ポイント増加、貯蓄意識は依然として強いが、「生活費の補てん」が昨年夏の 2 位から 5 位へ後退。（調査結果本文 4P）

- ◆ **夏のボーナスの貯蓄、その目的は“老後資金の備え”が初めてのトップ。老後への不安が表れているようだ。**

夏のボーナスの貯蓄目的は“老後資金の備え”が初めてのトップ。一方前回トップの“将来の家計補充”が昨年夏比 12.0 ポイント減少して 3 位となる。（調査結果本文 5P）

- ◆ **夏のボーナスを貯蓄する際、参考にするものは引き続き「金融機関の店頭セールス」がトップ！「新聞・雑誌」が 2 位。「インターネット」が 3 位。**

主婦が冬のボーナスを貯蓄する際、参考にするものは引き続き「金融機関の店頭セールス」がトップ。やはり顔の見えるコミュニケーションが重視されているようだ。（調査結果本文 6P）

[調査結果本文はこちら](#)

以 上

この調査に関するお問い合わせは
西日本シティ銀行 広報文化部 堺まで
TEL 092-461-1869